

2023年度の豊丘小学校水泳授業について

1. 方針

2023年度は、豊丘小学校のプールは使用せず、豊丘小学校児童の水泳授業は、高甫小学校のプールを使用することとします。

2. 豊丘小学校プールを使わない理由

- ①豊丘小学校プールは設置から40年近く経過していて、水槽表面の「ざらつき」により、児童の擦り傷、水着の擦り切れ事象が発生しています。
- ②プールの改修には多額の費用が必要となるため、プール施設のあり方について検討を始めます。
- ③豊丘小学校の児童数減少により、プールの使用頻度が低い状況です。対して管理に係る教職員、PTA役員、児童の負担は大きくなっています。

3. 高甫小学校のプールを使用する理由

- ①須高行政事務組合が管理するサマーランドは、7月中旬のオープンのため時期が合いません。また、競技用プールは50メートルプールで、水深も深く、安全管理が難しいとの指摘を受けています。
- ②民間の長電スイミングの活用には新たな経費が発生してしまうことが課題となります。
- ③高甫小学校は豊丘小学校からの交通アクセスが良く、プールは駐車場と隣接しているため、移動がスムーズに行えます。
- ④高甫小学校の児童と豊丘小学校の児童の交流が可能になります。安全を見守る教員の目も増えます。

4. 豊丘小学校児童の水泳授業方法

- ①移動に係る時間（片道約10分）を最小限にするため、2学年ずつ、2時限授業とし、ピストン輸送により、1日で全学年の水泳授業を行いました。
- ②木曜日を豊丘小学校の水泳授業の日とし、高甫小学校の水泳授業への影響を最小限としました。
- ③授業方法の詳細、年間カリキュラムについては、豊丘小学校と高甫小学校で協議して決めました。
- ④水泳指導のインストラクターを派遣して泳力の向上に努めました。